

明治グループの目指す姿・健康価値

グループ理念

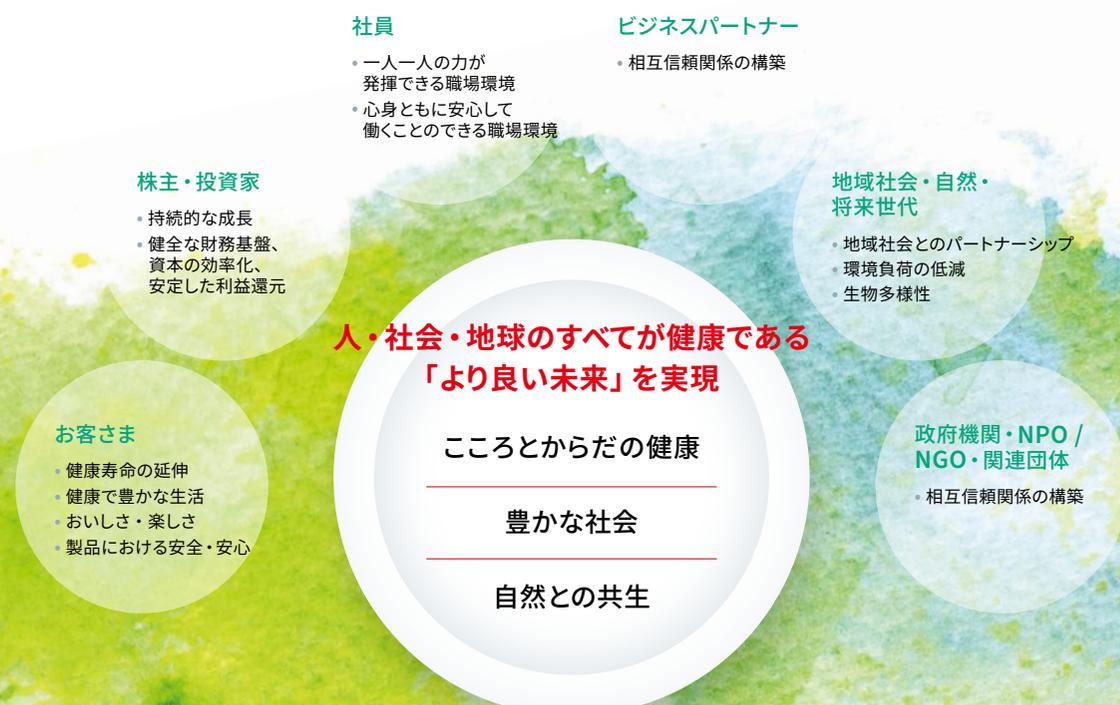
私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
 「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。
 私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
 日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
 常に一步先を行く価値を創り続けます。

meijiらしい健康価値とは？

私たちが目指しているのはCURE（なおす）・CARE（まもる）・SHARE（わかちあう）によって、
 すべてのステークホルダーに「meijiらしい健康価値」をお届けすることです。CURE・CARE
 とは、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代の方々に向けて、こころとからだに良い変化を起
 こすスイッチをたくさん入れること。そして、一人一人により多く、より長くサポートしていくことで、
 健やかで幸せな笑顔にすること。SHAREとは、その笑顔を周りにいっしょやる大切な人たちに
 まで、広く伝播させていくこと。こうして、一人の健康をみんなの笑顔につなげていくことが、
 私たちが考える「meijiらしい健康価値」です。

meijiらしい健康価値を すべてのステークホルダーに提供していきます



編集方針 / 明治グループの情報開示

編集方針

明治ホールディングス(株)は、2018年よりアニュアルレポートを「統合報告書」に代えて編集・発行しています。創業100年を超え、明治グループは新たな成長ステージに挑んでいます。本報告書では、持続的な成長のための「価値創造ストーリー」を軸に、財務・非財務情報などを一体的に編集してお伝えいたします。

参考ガイドライン:

- IFRS 財団 統合報告フレームワーク
- 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD)
- 経済産業省 価値協創ガイダンス



- 内閣府 知財・無形資産ガバナンスガイドライン

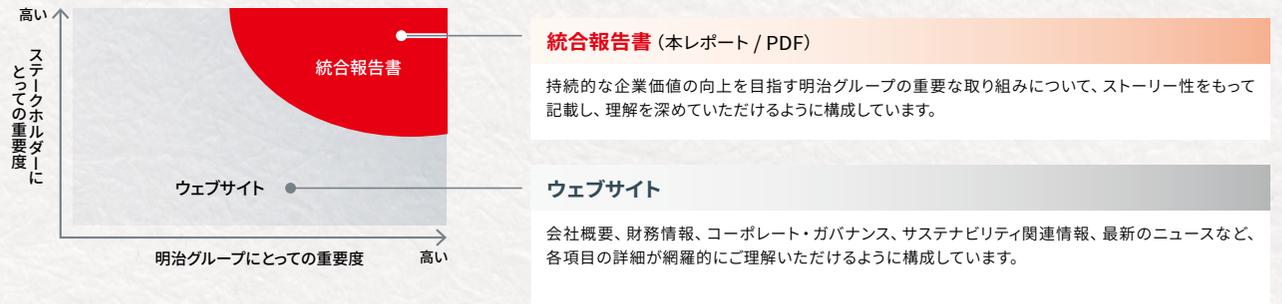


「統合報告書2024」のご利用にあたって

- 本報告書は、2023年度(2024年3月期)の実績に基づいています。一部、2024年度(2025年3月期)以降の活動内容も含まれます。
- 記載している内容は、当社が「統合報告書2024」作成時点で入手可能な情報から編集したものです。従って、実際の結果が当社の見通しと異なる可能性があることをご承知ください。なお記載情報は、特に示しているものを除き、2024年8月現在のものです。
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しています。特に記載のない限り、2020年度までは当該基準の適用前、2021年度以降は適用後の情報です。

明治グループの情報開示

統合報告書には、明治グループおよびステークホルダーの方々にとって特に重要度の高い情報を掲載しています。独立監査人の監査報告書等が付された財務諸表等は有価証券報告書を、また、第三者保証を受けたデータは環境データ集をご覧ください。その他、明治グループに関するより詳細な情報を入手されたい場合は、当社の各種ウェブサイト併せてご利用ください。



統合報告書 (本レポート / PDF)

持続的な企業価値の向上を目指す明治グループの重要な取り組みについて、ストーリー性をもって記載し、理解を深めていただけるように構成しています。

ウェブサイト

会社概要、財務情報、コーポレート・ガバナンス、サステナビリティ関連情報、最新のニュースなど、各項目の詳細が網羅的にご理解いただけるように構成しています。

株主・投資家情報 ▶

ビジョンと戦略 ▶

IRライブラリ ▶

有価証券報告書 (PDF) ▶

個人投資家の皆さまへ ▶

コーポレート・ガバナンス ▶

財務・非財務ハイライト ▶

株式情報 ▶

サステナビリティ情報 ▶

健康と安全 ▶

環境 ▶

明治グループにおける
TCFDへの取り組み (PDF) ▶

人財・人権・社会 ▶

原材料調達 ▶

外部イニシアチブとの連携 ▶

外部評価 ▶

サステナビリティ情報索引 ▶

ESGデータ集 ▶

環境データ集 (PDF) ▶

明治グループについて ▶

ネクストストーリーズ ▶

「meijiらしい健康価値」を追求する取り組みをストーリーでご紹介しています。

イノベーション ▶

新たな健康価値創造の取り組みをご紹介します。

明治グループの概要 ▶

理念やスローガン、経営体制、事業領域、沿革などをご紹介します。

その他の詳細情報は下記URLからご覧ください。

明治ホールディングス株式会社

<https://www.meiji.com/>

目次

01 明治グループについて

- 01 明治グループの目指す姿・健康価値
- 02 編集方針 / 明治グループの情報開示
- 03 目次
- 04 At a Glance
- 06 100年にわたる「meijiらしい健康価値」創造の歴史

08 トップメッセージ

- 08 CEOメッセージ
- 13 CFOメッセージ
- 15 2023中期経営計画の総括
- 18 社外役員対談

23 市場創出と企業価値創造

- 24 明治グループの価値創造プロセス
- 25 新たな市場創出を実現する meiji の強み
- 26 2026 中期経営計画の概要

29 戦略

- 30 食品事業戦略 | COO メッセージ
- 33 トレード・オンの実現に向けた取り組み
- 35 医薬品事業戦略 | COO メッセージ
- 37 トレード・オンの実現に向けた取り組み
- 40 サステナビリティ戦略 | CSO メッセージ
- 44 自然との共生
- 49 人財戦略 | CHRO メッセージ
- 51 人財マネジメント
- 56 人権
- 57 イノベーションの創出
- 58 技術開発戦略
- 64 知的財産戦略
- 67 デジタルテクノロジー戦略 | CDO メッセージ

70 ガバナンス

- 71 コーポレート・ガバナンス
- 80 リスクマネジメント
- 81 役員一覧

84 会社データ

- 85 財務・非財務ハイライト (11年間サマリー)
- 87 会社情報・株式情報
- 88 表紙作品について / 編集後記



パラリンアート世界大会2023 meiji 賞受賞作品 (表紙) について

[P.88 表紙作品について](#) →

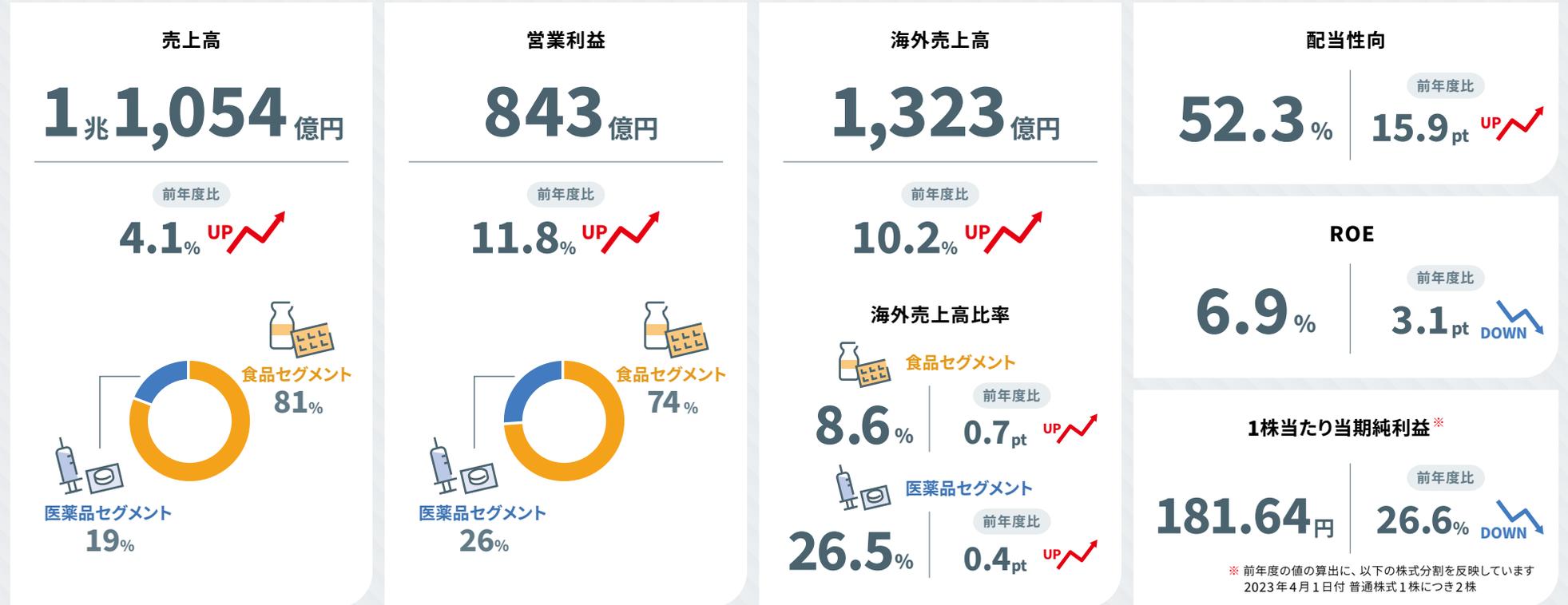
明治ホールディングスは、一般社団法人 障がい者自立推進機構が主催する、障がい者アートのワールドカップ「パラリンアート世界大会2023」に協賛しています。表紙のアート作品は「meiji 賞」を受賞された作家 KOTO さんによる作品「日本ものがたりの旅」です。

At a Glance

財務情報

meijiらしい健康価値の拡大に向けて

人々の毎日の生活に欠かせない乳製品・菓子・栄養食品・医薬品など幅広い分野の製品を通して、「おいしさ・楽しさ」の世界を広げ、「健康・安心」への期待に応えることを使命に事業を営んでいます。今後さらに多くの世界の人々に「meijiらしい健康価値」をお届けしていきます。



At a Glance

非財務情報

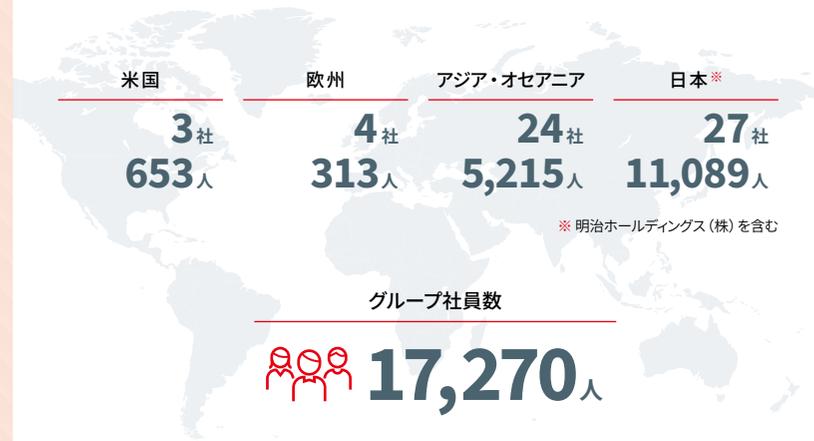
サステナビリティと事業の融合に向けて

グローバルに事業展開を進めていくなかで、事業を通じた社会課題解決に取り組むことが、持続的な成長につながると考えています。人財へのさらなる投資により多様な価値観や知見を活かしあう環境を醸成し、社会課題の解決につながる新たな価値を創出していきます。

グループ会社と社員数

(2024年3月31日現在)

グループ会社数は連結対象および持分法適用会社数
社員数は連結対象会社に在籍する人数



女性管理職比率 **6.5%** 女性リーダー※ **281人**

※ 管理職および係長職相当

社会課題解決に向けた明治らしい取り組み



ESGの外部評価

当社の取り組みは外部から高く評価され国内外のESGインデックスの組み入れ銘柄として採用されています。

Member of
Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

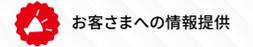


THE INCLUSION OF Meiji Holdings Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Meiji Holdings Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

外部評価 > ESG 関連指標

100年にわたる「meijiらしい健康価値」創造の歴史

明治グループは、創業から100年にわたって受け継いできた「栄養報国」（栄養を通じて社会に貢献する）の精神に基づき、「meijiらしい健康価値」を持つ「製品」および、お客さまにとって有用な「情報」の提供を行い、大きな市場シェアを獲得してきました。今後も、国内のみならず世界中の人々に製品を届け、成長を持続させていきます。



時代ごとの健康・栄養の関心に応えるために

乳幼児ミルク

1923年の「パトローゲン」発売以来、世界初のキューブタイプ（2007年）や液体タイプ（2019年）も発売するなど開発・改良を重ねてきました。また、アジアや欧州でも展開しています。



1923
育児用粉乳
「パトローゲン」



2007
「明治ほほえみ
らくらくキューブ」



2019
「明治ほほえみ
らくらくミルク」

GLOBAL アジア、欧州での展開



国内市場シェア
No.1 40.3%
(2023年度)
出典：2023年度インテージ社 SRI+

 1976年に開設した「赤ちゃん相談室」では、管理栄養士など専任相談員が電話やメールで栄養や育児の相談に応じています。最近では専用アプリ「赤ちゃんノート」を開発し、育児に必要な健康情報なども発信しています。

牛乳

1928年の「明治牛乳」発売以来、人々の健康を支えてきました。2002年には「ナチュラルテイスト製法」で新鮮なおいしさを実現した「明治おいしい牛乳」に進化。2013年からは中国でチルド牛乳を発売し、グローバルに展開しています。



1928
「明治牛乳」



2002
「明治おいしい牛乳」

GLOBAL 中国などアジアでの展開



国内市場シェア
No.1 17.2%
(2023年度)
出典：2023年度インテージ社 SRI+

 酪農家の皆さんとの連携や生乳へのこだわりといった時代の要請に応じた取り組みも積極的に発信しています。

スポーツプロテイン

1980年、アスリート向けにスポーツ栄養学に基づいて開発された「ザバス」シリーズ。一般の運動愛好者や女性にも対象を広げ、飲料など多彩なラインアップを展開。2020年より中国でも発売しています。



1980
「ザバス」シリーズ



2015
「ザバスミルク
グレープフルーツ風味」



2023
「ザバス アドバンスト
ホエイプロテイン100」

GLOBAL 中国などアジアでの展開



国内市場シェア
No.1 36.8%
(2023年)
出典：2023年当社調べ

流動食（市販）

1986年に参入し、1995年には「メイバランス」を発売。2022年には「総合栄養食品」の表示許可を取得し、同年「MICHITAS カップ」を発売。台湾やベトナムでも展開しています。



1995
「メイバランス」



2022
総合栄養食品
表示許可取得



2022
「明治メイバランス
MICHITAS カップ」

GLOBAL 台湾、ベトナムでの展開



国内市場シェア
No.1 85.0%
(2023年度)
出典：2023年度インテージ社 SRI+

 スポーツ栄養セミナーの開催、低栄養に関する情報発信など、時代とともに多様化するニーズに合致した健康・栄養情報の普及・啓発活動に努めています。

100年にわたる「Meijiらしい健康価値」創造の歴史

これまでにない、新しい「健康」をお届けするために

ヨーグルト

1973年に「明治ブルガリアヨーグルト」を発売し、日本のプレーンヨーグルト市場をけん引してきました。2000年にはプロバイオティクスヨーグルトを開発し、新たな市場を創造。2021年からは中国でもプロバイオティクスヨーグルトを発売しています。



1973
「明治ブルガリアヨーグルト」



2000
「明治プロビオヨーグルトLG21」



2009
「明治プロビオヨーグルトR-1」

プロバイオティクスヨーグルト

国内市場シェア

No.1 35.8%
(2023年度)

出典：
2023年度インテージ社 SRI+

GLOBAL



中国などアジアでの展開

チョコレート

1926年の「明治ミルクチョコレート」の発売にはじまり、1998年にはカカオの持つ健康価値に着目した商品も開発、栄養面からもカカオの魅力を引き出しています。欧米、アジア、中東にも展開しています。



1926
「明治ミルクチョコレート」



1998
「チョコレート効果」



2023
「チョコレート効果プラス」
(機能性表示食品)

国内市場シェア

No.1 24.7%
(2023年度)

出典：
2023年度インテージ社 SRI+

GLOBAL



欧米、アジア、中東での展開

乳酸菌やカカオの持つ健康価値を研究し、学術データや論文として発表しています。そこで得た知見や情報は、製品特長を訴求したマーケティングやプロモーション活動に活用するほか、食育活動なども通じてお客さまに広く発信しています。

感染症の脅威から人々を守り続けるために

全身性抗菌剤

1946年にペニシリンの製造を開始して以来、現在20以上の国と地域で展開中の「メイアクト」をはじめ多様な抗生物質を安定供給しています。



1946
抗生物質「ペニシリン」
製造開始



2006
β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
「スルバシリン静注用」



1994
セフェム系抗生物質
「メイアクト」



2015
β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
「タゾビペ配合静注用 明治」

国内市場シェア

No.1 23.2%
(2023年度)

Copyright © 2024 IQVIA.
出典：IQVIA医薬品市場統計
JPM2024年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は
当社の定義による
※ 無断転載禁止

ワクチン

約半世紀にわたり、ワクチンの開発・供給を通じて日本の公衆衛生の向上に寄与してきました。現在は国内で長年の使用実績がある不活化ワクチンに加え、mRNA技術を獲得し、新型コロナワクチンの早期上市をめざしています。



1972
「インフルエンザHAワクチン」



2011
日本脳炎ワクチン
「エンセバック」



1988
B型肝炎ワクチン
「ビームゲン」



2024
5種混合ワクチン
「クイントバック」

国内市場シェア^{*1}

No.1 29.3%
(2023年度)

Copyright © 2024 IQVIA.
出典：IQVIA医薬品市場統計
JPM2024年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は
当社の定義による
※ 無断転載禁止

^{*1} インフルエンザワクチン

医療従事者の方に向けて、予防から治療にわたる充実した情報提供、最新の感染症に関するレポートの提供、薬剤耐性菌に対する啓発などに取り組むほか、患者さんや一般の方に向けた病気と健康、薬に関する分かりやすい情報提供にも注力しています。